

台風に備えましょう



台風が発生するシーズンになりました。台風の接近時には、強風や大雨等の恐れがあります。気象情報に十分注意して、被害防止、伝染病の侵入防止に努めましょう。



◆事前の対策

1. 畜舎の損傷、倒壊のおそれがある所は、補修して備えましょう。
2. 大雨による畜舎への浸水のおそれがある場合は、排水溝を設けるなどの備えをしましょう。堆肥流出にも注意が必要です。
3. 畜舎への浸水により家畜への被害が予想される場合には、事前に家畜の避難場所を確保しておきましょう。
4. 停電等が想定される地域では、自家発電機による搾乳、生乳冷却、畜舎内の送風ファン等に対応できるようにしておきましょう。
5. 断水の可能性がある場合には、最小限の飲料水を給水タンク等で確保しておきましょう。

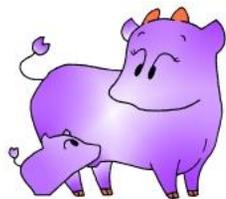
◆台風後の対策

【伝染病予防対策】

1. 天候が回復したら、畜舎内・畜舎周辺の排水を行い、消毒しましょう。
2. 土砂が流入したときには、二次的事故に注意しながら土砂を除去しましょう。
3. 畜舎、牧柵、防鳥ネット等に破損、汚染がないか確認し、必要があれば補修、洗浄、消毒を行いましょう。
4. 飲水に適した水の給与の確認や、家畜の健康観察など飼養衛生管理基準に沿った衛生管理を徹底し、疾病予防措置を講じましょう。

【飼料作物】

1. 圃場が冠水や浸水等の被害を受けた時は、速やかに排水をしましょう。
2. 倒伏すると収穫量の減少・品質が低下するため、倒伏がひどく回復が見込めない時は、高刈り等により土砂の混入を避け早めに収穫しましょう。



農場の見回りをするときには、
気象情報を確認して、安全に行いましょう！

飛騨家畜保健衛生所(飛騨総合庁舎内)

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL:0577-33-1111 FAX:0577-32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

